



平成24年4月創刊(通算335号) 平成30年10月10日発行

校報

# 平高の窓

平成30年度 第 9 号

平成30年(2018)

いよいよ式典！学校創立70周年

校訓「**開拓者精神**」 自勝・自強・自立・自尊  
 岩手県立平館高等学校 校報編集委員会(文責 副校長)

## 後期生徒会役員決定！！

9月18日に立会演説会と投票が行われ、生徒会長田村岳杜君をはじめとする16名の平高生徒会の新リーダーが決定しました。今年度の後期から来年度の9月まで、生徒会を牽引していく2年生と1年生のメンバーです。平高の発展と活性化に向けた活動を期待します。

会長 田村岳杜 (2C)      副会長 遠藤世菜 (2C)      副会長 小野寺奈緒子 (1A)  
 書記長 又重壘 (2A)      書記次長 藤原蓮 (2D)      書記次長 高橋愛美 (1B)  
 会計 下野優 (2C)      会計 藤田操 (2C)      会計 遠藤朱梨 (1B)  
 会計監査 和田美沙紀 (2A)      会計監査 遠藤颯都 (1B)  
 議長 上野聖羽 (2C)      副議長 丹内凌 (1A)      副議長 田村皓貴 (1B)  
 応援団長 滝沢大成 (2D)      副団長 高橋爽季 (2A)



↑ 認証式の様子 (9/27)



9/27(木) 進路講演会

## グローバル人材育成講演会

講師：鈴木健治氏 (元青年海外協力隊員)

講師の鈴木氏は青年海外協力隊員としてナミビアに派遣されました。ナミビア共和国は1990年に独立した小さな国です。「お互い様の文化」があり、おしゃべり好きな国民とのこと。また、青年海外協力隊員とはどんなことをするのか、鈴木氏はどんな活動をしたのかを詳しくお話してくださいました。

講演の最後に、「日本と世界は繋がっている」こと、「好きなことに打ち込む！」ことも大切であると生徒に伝えました。

## 2学年 「ものづくり人材育成定着促進モデル事業」 / 「いわて地域担い手育成事業」

9月13日（木）、企業・上級学校見学を通じて、本県の特徴ある産業・文化を担う人材育成の一助とし、キャリア教育の充実に資するため行われました。生徒たちは、来年の進路活動に活かそうと、熱心に話を聴いたりメモをとったりしていました。見学場所は以下の通り。

「ものづくり人材育成定着促進モデル事業」 2年A組 2年D組

白金運輸(株)北上流通加エセンター → (株)岩手ヤクルト工場 → TDK 秋田(株)北上工場

「いわて地域担い手育成事業」 2年C組

(株)デンソー岩手 → 岩手県立産業技術短期大学校(矢巾キャンパス)



\*\*55年間継続活動\*\* 8月28日～

## 紫薫枕引き渡し&贈呈式

紫薫枕は昭和39年に、本校家庭クラブの研究活動の一環として「安眠枕」を考案したのが始まりです。そば殻を綿でくるみ、さらに布でくるんで、肌触りと、寝ごちよく、水分の吸収も向上させた枕です。考案以来55年間、半世紀にわたり、平高の家庭クラブの奉仕活動として受け継がれ、平成2年には全国ボランティア大会で厚生大臣賞をいただいている活動であり、家庭クラブの研究発表大会でも非常に高い評価を得ています。

この紫薫枕は、家庭科を学んでいる家庭クラブ員が協力して、6月下旬から8月まで、取り組んで完成させたものです。中袋と外袋をミシンで縫い、そば殻とムラサキで染めた小さな布を詰めて、手縫いでとじました。中に入っているそば殻（北館製麺様よりいただきました）には、熱をよく拡散し、頭を涼しくする効果や、寝ている間の余分な熱を外に逃し、汗などの水分を吸収するという役目があります。また、ムラサキの根には、古くから抗炎症、抗菌作用があるとされています。

家政科学科1年生が中心になって枕を縫いました。そば殻を入れて閉じる作業は2、3年生も協力しました。枕カバーは2年生が作り、普通科1年生が「平丸」のプリントを入れました。とても可愛らしくできあがったと思います。1年生が作ったカードも一緒に入れてあります。卒寿を迎える方々に、すぐにでも使っていただき、いつまでもお元気に長生きしていただきたいと願っています。



真心込めて  
製作しました！